

大切な人の命を守るために
北杜市立甲陵中学校 二年 加藤 琉衣
近年、各地で土砂災害が増えているように
感じられます。今年の七月にも、静岡県熱
海市で土砂災害が発生しました。新聞やニ
ースでも取り上げられており、土砂災害の起
きた近辺に住んでいる住民の方や、消防、警
察の方々が、土砂から必死に逃げている映像
もあり、自然の力は恐ろしいものだと思
実感しました。また、死者が出たと聞きた
に、胸が締めつけられる思いでした。
土砂災害は、建物への被害や負傷者、場合
によっては死者が出る可能性もある恐ろしい
災害です。また、人への影響だけでなく、環
境や動物にも影響が及んでまいります。こ
れは、人間だけの問題ではなく地球全体の問
題だと考えます。土砂災害が発生する原因と
して、異常気象や盛り土が関係していま
異常気象は地球温暖化の影響によるもので、
盛り土は、太陽光パネルの設置や住居などを

建設する際に行われたもので、どちらも人間
が豊かな生活を送るために開発してきたこと
が関係しているのだと考えます。
土砂災害の被害にあつた方々は、つまさか
こんなところでも土砂災害が起きるなんと思
てもみながた^レとテレビの取材で話してい
るのをよく目にします。私も、自分の住んで
いる地域で何十年、何百年と、過去に土砂災
害が起きていないと知れば、今後大丈夫だ
ろうと思つてしまいます。ですが、思い込ん
ではいけません。いつ、どこで土砂が流れて
くるか分かりません。もしかしたら、今日か
もしれないし、一ヶ月後かもしれないのです。
私は、土砂災害によつて自分や大切な人の命
を守るために三つの事が必要だと考えます。
一つ目は、いつ災害が起きるか分からない
と常に思うことです。ここは大丈夫、という
ことは決してありません。見えないところ
に危険が潜んでいます。災害は起きないだ
ろう、と思うのではなく、つもしかしたらい
という

気持ちも持って行動すれば、災害への備えも
できます。

二つ目は、共助です。雨の時、ずくと家の
中に入ると土砂に気がかないことがあるかも
しれません。そんな時、ご近所どうしで協力を
して、声を掛け合ったり、共に避難すれば被
害も広がりないと思います。いざという時の
ために、あいさつを共に交わしたり、常に助
け合っておくことで関係を築いていくことも
大切ではないでしょうか。

三つ目は、環境に配慮するということです。
自然エネルギーを生み出すために、山や森の
木を切り倒して太陽光パネルを設置するのを
少なくしたり、地球温暖化による異常気象が
さらに進行しないように二酸化炭素の排出を
削減することも重要です。地球は人類のもの
だけでなく、動植物のものでもあります。
地球に住むみんなのために環境に配慮しなけ
ればいけないと思います。

自然の力はとても恐ろしいものです。人間

の手では止めることができません。しかし、被害が出ないようには命を守るために対策することはできません。ハザードマップを確認して、土砂災害の危険性が低い場所に家を建てたり、災害が起きたときの避難経路や、避難用持ち出し袋を用意しておけばいいさという時に役に立つでしょう。そして、自分の住んでいる地域周辺に土砂災害発生の恐れがある場合は、すぐに避難するようになるところが大切です。自分の命と大切な人の命や周りの人の命を守るために、備えをし、万が一の時にはすぐに避難すると共に助け合うことが必要です。